

其後、日本帝國主義の擴張は、東洋、南洋、北亞、西伯利亞、中亞、北極圏に及ぶ。日本は、東洋の覇權を握り、南洋の富源を開闢し、北亞の交通を確保し、西伯利亞の資源を採取し、北極圏の開闢を期す。日本は、東洋の覇權を握り、南洋の富源を開闢し、北亞の交通を確保し、西伯利亞の資源を採取し、北極圏の開闢を期す。日本は、東洋の覇權を握り、南洋の富源を開闢し、北亞の交通を確保し、西伯利亞の資源を採取し、北極圏の開闢を期す。

財團法人海關青夫講堂支所

財團法人協同會大阪支所

義指導者及び改良主義組合ノゲテ幹共ノ勤メテキル役割トノ暴露。
 (二) 支配階級ト社會民主主義トガ拮ゲテキル「國民ノ權益」、日本國民ノ生活財産ノ保護、「日本帝國主義國威ノ維持」云々ノ戦争ノスローガンノ反革命的。帝國主義的。反人民のナ不質ノ暴露。ソツエト同盟ノ「赤色帝國主義」トイフ挑發的思想ノ非妥協的暴露。
 (三) 國內ニ階級平和ノ樹立ヲ圖ルブルジョア。地主的○○制ト社會民主主義トノ政策ニ對スル最も断乎タル闘争。人民大衆ノ排外主義狂熱ノ執拗ニシテ忍耐強イ克服、戦争ト結果トエヨリ勸誘大衆ガ業ル一切ノ悲慘、一切ノ苦痛エツイテノ不撓不屈ノ警告。
 (四) ソツエト同盟ニ於ケル社會主義建設ノ成果、コノ國ノ勞働者農民ノ諸達成及ヒソツエト同盟ノ平和政策ノ全面的普及、中國ソツエト運動ノ成果ト目標トノ普及。
 (五) 帝國主義戦争ヲ革命ニ轉化スル目標ニ從テ日本共產黨ハ、戦争ノ性質ニ適應サセテスローガンヲ掲ゲ、反戦活動ヲ遂行セネバナラス